

令和4(2022)年度			年 間 授 業 計 画						
教科・科目			地理歴史		地理総合		2 単位		
対象学年・組			1 年生				必履修		
教科書 (出版社)			新地理総合 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)				CONNECT地理総合 (第一学習社)		
学習目標 【観点別】			○調査や地図・統計などの諸資料から地理に関する情報を地理情報システムなどを用いて効果的に収集する・読み取る・まとめる技能を養う【知識及び技能】 ○地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、地域などの枠組みの中で概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力を養う【思考力、判断力、表現力等】 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を養う【学びに向かう力、人間性等】						
学期	予定 時数	単元 具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準		知	思	態
1	前半	12	地図とGISの仕組みと活用方法を理解する	○世界から見た日本の位置と領域 ○国内や国家間の結びつき ○地図とGIS	グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフの作り方を理解し、さらにGISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につけられたか。		○	○	○
	後半	12	地理的環境の特色	○地形、気候と生活文化 ○産業と生活文化 ○宗教・言語と生活文化	大地形と小地形に影響された生活、気候区分とその自然環境など多様な影響を受けて生活していることが理解できたか。産業の発達や宗教、言語の分布や人々との関わりや要因について理解できたか。		○	○	○
2	前半	14	世界各地の生活文化	○アジアの生活文化と地理的環境のかかわり ○ヨーロッパの生活文化と地理的環境のかかわり ○アメリカ・カナダ・ラテンアメリカの生活文化と地理的環境のかかわり	各諸地域の特徴に焦点を当て、その特徴についてさまざまな資料から多面的・多角的に考察し、自分なりの答えを出して分かりやすく説明することができたか。複数の国を自然、社会、経済の影響から比較する視点で考察し、理解することができたか。		○	○	○
	後半	14	地球的課題と国際協力	○地球環境と資源・エネルギー問題 ○人口・食料問題 ○居住・都市問題	持続可能な地球社会を考える上で地球規模で起きている問題は一国だけで対応できるものではないこと、多面的・多角的に考えていくことが必要であること、自らに関わる問題であることをSDGsを踏まえて認識し、理解できたか。		○	○	○
3	18	生活圏の諸課題	○日本の自然環境と防災 ○生活圏の諸課題と地域調査		日本が抱える地域的な課題について、身近な地域を例に取り上げ、景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につけ、それらの結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけたか。		○	○	○
評価の観点 (評価基準)			○授業や調査、発表、課題について、主体的に取り組んでいるか。 ○地理的なものの見方・考え方を身に付けられたか。(基礎・基本事項の習得) ○地理的現象から考察したことを自分の言葉で論理的に人に伝えることができるか。						
評価の方法			定期考査、小テスト、プレゼンテーション、授業態度、提出物等により評価						
学習の手引き			○日々の学習を大切に、授業に積極的に参加すること。工夫したノートを作成すること。 ○身の周りの様々な事象に対し関心、疑問をもち、地理的な見方や考え方で事象を捉えるようにする。 ○関心をもったことについて、常に地図と照らし合わせて、地図に親しむ。						
授業担当者			才野 秀樹						